

平成28年度  
阪南市外部評価委員会  
報告書

平成28年8月

阪南市外部評価委員会

## 1. 答申書の提出にあたって

阪南市外部評価委員会は、評価視点の多角化により行政評価の客観性を向上し、総合計画の実効性を高めるため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき設置された。具体的には、総合計画に掲げられた施策に関する内部評価を検証することが主な役割である。

平成 28 年度は、6 月 20 日（月）に市長の諮問を受け、平成 27 年度の内部評価結果について検証するために、計 6 回の委員会を開催した。委員会では、外部評価の対象とする 10 施策を選定したのち、評価対象とした施策に関する担当課へのヒアリングを実施し、評価シートとヒアリングの内容を踏まえた審議を行った。

審議の結果、総合計画で掲げた目標の達成に向けて、特に重要な課題があり、迅速な対応が必要である施策、これまで以上に積極的に具体的な活動に取り組む必要がある施策については、外部評価の判定区分を「★：施策のめざす姿にやや近づいている」とした。また、一定の成果は認められるものの、まだ解決すべき重要な課題が残っている施策は「★★：施策のめざす姿に近づいている」と判断した。

今年度は、昨年度の改善に向けた指摘事項を踏まえ、外部評価の審議の結果をよりわかりやすく判定に反映させるために判定区分の★に＋を加えることで、評価区分を 4 段階から 9 段階へ細分化した。

今年度に評価対象とした施策は、市民にとって身近でかつ重要なものが多く、総合計画に記載した目標の達成に向けて、これまで以上にさらなる取り組みの充実が必要であると委員会が判断した結果であると認識されたい。さらに、これらの評価結果を前向きに効果的に活用するとともに、活用の方針や結果をわかりやすく職員や市民に説明し、次年度以降の取り組み、さらには次期基本計画の見直しにつなげることを期待する。

また、評価結果を施策の見直しに積極的に活用するためには、多くの関係者が行政評価の仕組みを理解し、納得できる評価結果を導き出せるよう、内部評価及び外部評価の精度を向上させることが重要であることから、そのための一方策として、行政評価の仕組みそのものについても PDCA サイクルを取り入れ、継続的に見直しを進めることを要望する。

最後に、この外部評価委員会の答申が、総合計画に掲げた将来の都市像「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向け、十分に活用されることを望みたい。

平成 28 年 8 月 16 日

## 2. 答申（対象施策の評価結果）

施策名 (施策コード)	市民協働ネットワーク化 の促進（102）	内部評価	★★	外部評価	★★-
判定理由	<p>市民団体が連携して相互に連携するような仕掛けづくりをされており、成果も出ていることや、市民協働事業提案制度については、新たな事業が少ないという課題はあるものの、これまでに事業化されたものについては、現在も継続できていることは評価できる。</p> <p>しかしながら、市民協働をより一層推進していくためには、市民がやり甲斐を持てるような仕組みづくりを構築し、また一方で施策の所管課だけではなく、他課をうまく巻き込んで全庁的な取り組みにしていく必要があることから、今後の取り組みに期待し、★★にやや足りない「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の関係課が該当なしとなっているが、幅広く他課と連携して取り組んでいくことが重要であることから、全庁的な取り組みとされたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	子育て支援の充実 (205)	内部評価	★★	外部評価	★★-
判定理由	<p>待機児童数が0であったことに加え、「子育てあんしんガイドブック」の更新や「子育てサイト」の開設、「赤ちゃんの駅」の整備など、ソフト面において出来る限りのことに取り組んでいることは認められ、その点は評価できる。</p> <p>一方で、保育の質の向上をめざしているが、成果を意識して施策を展開されているか、また、対象者のニーズ等を的確に把握するなど、市民の声に耳を傾けているということが十分認められなかったことから、★★にやや足りない「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p> <p>なお、今後、子育て支援をより一層推進するための施策展開の拠点となる、現在整備を進めている「総合こども館」については、市民ニーズを十分に踏まえ、ハード面、ソフト面ともに充実し、阪南市の未来を担うこどもたちが安全かつ生き活きと過ごすことのできる施設となることを期待する。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阪南市の子育て世代の世帯の移住・定住を促進するためには、市民ニーズの把握と事業の効果検証は不可欠であることから、その仕組みづくりを構築されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	地域防災の推進 (301)	内部評価	★★	外部評価	★
<b>判定理由</b>	<p>自治会総会や防災出前講座などを通じて、自主防災組織や地域防災力の重要性について、継続的に自治会や市民に啓発するなど、自主防災組織結成数や訓練実施率を高める取り組みを実施することにより、自主防災組織による訓練実施率については一定の効果が出ていること、また、消防団員充足率についても定員を維持していることについては評価できる。</p> <p>しかしながら、本施策において重要な指標である、自主防災組織については、過去2年の本委員会答申が活かされた施策展開が認められず、その結果、新たな成果についても認められない。</p> <p>また、本市では、南海トラフ巨大地震への備えが必要なことから、本年4月に発生した熊本地震の自治体の対応状況などの研究を行い、特に地震などの自然災害や大規模なシステム障害による基幹事業の停止リスクに対する対応マニュアルが策定できておらず、またその必要性の認識も希薄であったことから、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				
<b>委員提案</b> (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ巨大地震等の大規模広域災害時における災害協定については、被災規模が小さいと想定される遠隔地との協定を検討されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	生涯スポーツの振興 (406)	内部評価	★★	外部評価	★★ <sup>-</sup>
判定理由	<p>総合体育館や教育施設については、健幸ポイントプロジェクト等の新規事業に取り組むことにより、一定の利用率の向上が見受けられることは評価できる。しかしながら、施設利用者の6割以上が60歳以上の高齢者であり、高齢化の進展に合わせた施策展開に加え、より一層若い世代を取り込むための方策の検討が必要であることから、★★にやや足りない「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p> <p>今後は、体育施設の幅広い年齢層の利用促進や、スポーツ教室等に子どもや若い世代の参加を促すことを意識した協議を指定管理者と行い、利用者に偏りが生じないように、様々な利用促進方策に積極的に取り組まれない。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果指標の設定については、体育施設の利用者の増加を目標としたアウトプット指標を設定しているが、利用者の増加に関して発生する効果を表すアウトカム指標の設定を検討されたい。</li> <li>・ より効果的に施策を推進するため、他課との連携を踏まえ、健幸マイレージ事業との連携や統合を視野に入れて検討されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	観光の振興 (501)	内部評価	★★	外部評価	★
判定理由	<p>平成27年度においては、国の交付金等を活用して、新たな事業にチャレンジしていることは認められる。しかし、飛躍的な交流人口の増加が期待できないことは理解するものの、これまで施策推進のための明確なビジョンがなかったこともあり、相乗効果を狙った事業展開や効果的な情報発信ができておらず、交流人口の増加や地域経済の活性化につながっていないことが大きな課題である。</p> <p>また、個々の事業も明確なターゲットが定まっておらず、そのためにチラシについても誰に来てほしいのか不明確で訴求力に欠けていることや費用対効果の視点が不十分などの問題がみられたことから「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>今後、観光振興ビジョンを策定するにあたり、施策のめざす姿の実現に向けて、阪南市の交流人口の増加と魅力向上につなげるとともに、阪南市の自然環境などの強みを活かして経済効果につながる施策展開を期待したい。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信については、事業ごとに明確にターゲットを定め、それを踏まえた効果的な広報戦略を行うなど、訴求力の高い方策を十分に検討したうえで事業を実施されたい。</li> <li>・わんぱく王国などの観光資源に職員が何度も足を運んで、現地の状況を把握するとともに、他団体の事例も参考に定期的で地道な営業活動を実施されたい。</li> <li>・阪南市の強みである自然環境を積極的に活用するとともに、近隣市町との連携を一層強化して、広域的な観光プランについても検討されたい。</li> <li>・受入環境の整備として、社会問題になっている空き家対策などの他施策との連携を検討されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	農業の振興（503）	内部評価	★★	外部評価	★ <sup>+</sup>
<b>判定理由</b>	<p>J Aや民間企業等との連携をはじめ、人・農地プランの更新などにより、一定の取り組み成果が認められるものの、成果指標が達成できていないことに加え、後継者育成や販路拡大の支援、阪南ブランド定着や活性化、6次産業化への対策など、施策のめざす姿の実現に向けた具体的な方策が不明確であるなどの課題を多く認められる。よって、「施策のめざす姿に近づいている」とまでは言い難いが、「施策のめざす姿に近づいている」に近い「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>今後、就農者確保策などについては、受け身の姿勢ではなく、積極的に取り組むことを期待する。また、地産地消推進計画を策定するにあたり、施策のめざす姿の実現に向けて、地場製品のブランド力や情報発信の強化など、具体的な方策を盛り込まれたい。</p>				
<b>委員提案</b> （＝平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の目標値と実績値との乖離が大きいことから、後期基本計画の指標の設定については、ストレッチ目標など現実に則し施策が推進できるような指標設定を行われたい。</li> <li>・農業経営の安定化に向けて、J Aや民間企業等との連携を強化し、後継者育成や販路拡大の支援、阪南ブランド定着や活性化、6次産業化の促進など、一層の販路拡大・経済的な効果につながるよう取り組まれたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	自然と共生するまちづくり (601)	内部評価	★★	外部評価	★
判定理由	<p>施策のめざす姿と実施している事業が一致していない部分があり、評価が難しい施策であった。</p> <p>施策シートの内容やヒアリングの結果、既存事業については、関係課や各種団体と連携して着実に取り組んでいることは理解できた。しかし、成果指標が目標値に達成できていないことに加え、事業実施の明確なターゲットが定まっていなかったことや、現場の実態を把握できていないこと、さらには、アダプトプログラムの新規加入者確保の問題、施策のめざす姿の実現に向けての今後の施策展開に対する具体的な方策などが不明確であったことから、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アダプトプログラムについては、年代別構成の把握に努め、ターゲットを明確にするとともに、将来を見据え、次世代の育成を図るため、若い世代が参加できる仕組みを考えていただきたい。</li> <li>・施策の推進にあたり、より一層、関係課との情報共有や連携を強化し、事業の実施に臨んでいただきたい。特に、府立自然公園やわんぱく王国への来訪者や利用者の増加を図るため、ターゲットを明確に絞り、関係課と連携してPRの強化に努められたい。</li> <li>・後期基本計画においては、施策のめざす姿と実施する事業が一致するように検討されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	都市基盤の維持管理 (607)	内部評価	★★	外部評価	★★-
判定理由	<p>道路等の施設の維持管理について、市民の要望に概ね対応できていることに加え、道路や橋梁をはじめ公園の施設更新について、将来を見据え、維持管理コストを抑えるため、長寿命化計画を策定し、財政状況を勘案したうえで優先順位を付けて、着実に施設更新を進めていることは理解できる。</p> <p>しかし、特に道路や橋梁については、安全面で心配をなくすためには至急の対応が必要である。財源の問題で優先順位を付けざるをえないことは理解するので、今後、環境変化を十分に踏まえ、場合によっては優先順位を見直すことも視野に入れるとともに、引き続き、新しい技術、国の補助金などを積極的に取り入れて早期の施設改修することが必要であると考えます。</p> <p>また、アダプトプログラムの新規加入者確保に向けて、今までと同様の手法が将来的にも活用できるか疑問であり、新しい方法の検討、事例収集を行うなど、今後の施策展開に対する具体的な方策の検討が必要であることから、★★にやや足りない「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アダプトプログラムについては、年代別構成の把握に努め、ターゲットを明確にするとともに、持続可能な取り組みにするために、将来を見据え、若い世代が積極的に参加できる仕組みづくりを構築されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	人材育成の強化 (702)	内部評価	★	外部評価	★
判定理由	<p>人材育成基本方針に基づき様々な事業に取り組んでいることは認められるものの、事業の一つひとつを検証すると、それぞれの目的が明確に定まっておらず、取り組みによりどれだけの成果が出ているのかも十分に認められなかった。</p> <p>また、研修後にアンケートを実施しているものの、それが次年度の研修事業の展開につながっておらず、戦略的な人材育成が方針に基づいて行われているかの検証も必要と考える。</p> <p>人材育成のための個々の取り組みについても、明確な目的の設定と実施後の効果検証は不可欠である。取り組み結果や市民ニーズの把握など、出来ることから検討・実施し、次の事業展開に反映できるような仕組みづくりが必要なことから、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>人事評価制度が平成27年度から試行され、28年度から本格導入されたことから、今後の成果向上に期待したい。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場外研修は、職場内研修ができる人材育成を主眼においた研修とされたい。</li> <li>・昇任試験については、試験制度を多様化するなど、多角的な視点で人材を確保する工夫を検討されたい。</li> <li>・成果指標については、職員のやり甲斐に関しての指標や研修の効果測定ができる指標の設定について検討されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	健全な財政運営 (703)	内部評価	★	外部評価	★ <sup>-</sup>
判定理由	<p>成果指標の数値が改善されていないことに加え、成果指標にある経常収支比率が悪い状況にあること、また、財政状況が厳しいという認識は財政部局にはあるものの、全庁的に意識が共有できていないことや、具体的にどのような方策で収支をプラスにするのか方向性が定まっておらず、全庁的に危機意識を共有して職務を遂行されたい。</p> <p>また、財政状況が厳しい状況にあるにもかかわらず、従前からの取り組みに加えて、未利用地の対応や、ふるさと納税の取り組みなどにおいて飛躍的な改善がなく、危機感をもって健全な財政運営に取り組んでいるとは認められない。</p> <p>これらを踏まえ、財政課に限らず全職員が危機意識を持って、全庁的に増収に向け取り組む必要があることから、★にやや足りない「施策のめざす姿にやや近づいている」とした。</p>				
委員提案 (=平成29年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主財源の確保に向けて、特にふるさと納税については、他団体の事例も参考として当市の特色を活かしたお礼品の設定など積極的に制度拡充や情報発信等に取り組まれない。</li> <li>・ 経常収支比率が100%を超える可能性もある中、現在の財政状況に関して、全職員が危機意識を持っていただきたい。</li> <li>・ 未利用地等の公有財産については、有効な活用もしくは、売却を行うことにより、阪南市のプラスとなるように考えていただきたい。</li> </ul>				

### 3. 阪南市の行政評価制度について

外部評価も3年目の取り組みとなり、職員の理解は一定程度深まってきていると考えられる。今後、より一層精度と効果の高い行政評価制度とするために、評価の仕組み全体について改善すべき点は以下のとおりである。

また、今回の外部評価ヒアリングは、新しい総合計画の策定と期を同じく行ったが、同計画策定のための住民意識調査が、前回調査の方法と異なる方法で行われたため、成果指標の比較が困難となり、評価の判定は苦慮した。調査の設計に際しては十分な配慮をお願いしたい。

ここで指摘した事項にどのように対応したかについては、次年度の内部評価実施前に報告していただきたい。

#### ① 施策の判定に関して

これまで3回の外部評価を実施してきたところであるが、行政による内部評価と外部評価委員が判定する外部評価との判定には、乖離が多く見られた。その多くは、めざす姿を達成するために何が欠けているかを行政内部で検証できていないことや、目的意識の欠如がうかがえたことによるものと考えられる。事務局は、これまでの外部評価の経験を踏まえ、内部評価において検討すべき点を明示するとともに、ヒアリング実施時に十分な問題提起を行って欲しい。

#### ② 外部評価委員会の運営に関して

外部評価委員会によるヒアリングで1施策あたりにかけることのできる時間が限られていることから、事前質問票の回答は、前もって各委員に配布していただきたい。そうすることで、ヒアリング時の質問を深めることができ、効率的で内容のあるヒアリングを実施できるようになると考える。

また、外部評価委員会の開催間隔について、本年度は7日間ごとの開催であったが、この間隔では、施策担当課が事前質問への回答などで非常にタイトなスケジュールとなることから、10～12日程度の間隔での開催が望ましい。

ヒアリングを受ける課には、より一層充実した外部評価となるよう、指定管理者や各種団体など、施策の推進に密接にかかわっている方々の活動内容や意見を十分に把握したうえで対応していただきたい。

### ③ 外部評価を実施する施策件数に関して

本年度も昨年度に引き続き、ヒアリングのための委員会を4回開催し、いくつかの施策については議論の時間を長くとれるように実施してきたところであるが、やはり、限られた時間では、施策担当課との意見交換や外部評価委員間での議論を十分に行えない状況があった。

現状では4回の委員会で10施策のヒアリングを実施しているが、回数を1回追加し5回開催とする、開催回数は現状のまま、対象とする施策数を減らす、若しくは、委員会の開催時刻を繰り上げ、十分な時間を確保するなど、外部評価委員が施策の現状と課題を理解した上でよりの確な評価を判断することができるように検討されたい。

### ④ 住民意識調査の定期的な実施と新たな指標の作成に関して

前期基本計画の進捗状況を確認する重要な指標となっている住民意識調査については、前回の実施が平成22年、最新の実施が平成27年と5年に一度の調査となっている。平成27年度の調査では回答項目が5項目から「ふつう」を除いた4項目に見直されており、その指標の実績値の推移を評価の判断材料にできなかった。評価の信頼性を高めるためにも、指標の実績値の測定方法に変更があった場合には慎重かつ丁寧な説明を加えて欲しい。

また、本件については、平成26年度の外部評価委員会の報告書においても提案したところであるが、市民の満足度は施策評価において重要な指標の一つであると考えことから、ポスティングや広報誌等を活用して、1年に1度若しくは2～3年に一度の間隔で、住民意識調査を実施できるよう検討されたい。

なお、現在策定中の後期基本計画の指標の設定については、毎年度効果測定が可能で、かつ成果をしっかりと検証できる設定を強く求める。

### ⑤ 評価シートの構成に関して

外部評価実施時に提出される施策シートには、PDCAサイクルのCの部分までしか記入されていない。Aの部分である実施計画の案を記載するよう検討して頂きたい。そうすることで、施策シートの取組方針と見比べたり、担当課が考える今後の施策推進の方策を把握したりすることが可能となる。

また、本来施策評価は、施策のめざす姿を踏まえて、当該年度にどのような取組方針を作成し、取り組み方針を受けて施策をいかに実現し、どのような効果があったかをPDCAサイクルに沿って検証するものであり、評価シートはそれができる構成となっている。評価シートを作成する際には、シートとその構成の意図を十分に理解、意識していただきたい。

#### 4. 平成28年度 阪南市外部評価委員会開催日程

開催日時等	委員会の議事
第1回 6月20日(月) 18時30分から (会場) 市役所本庁3階 全員協議会室	①市長挨拶 ②委員紹介 ③委員長・副委員長の選出 ④市長から委員長へ諮問 ⑤外部評価実施要領について ⑥外部評価施策の選定
第2回 6月27日(月) 18時30分から (会場) 市役所本庁3階 全員協議会室	① 担当課ヒアリング 第3章 施策1 「地域防災の推進」 第7章 施策2 「人材育成の強化」 ② 判定区分等について協議
第3回 7月4日(月) 18時30分から (会場) 市役所本庁3階 全員協議会室	① 担当課ヒアリング 第1章 施策2 「市民協働ネットワーク化の促進」 第5章 施策1 「観光の振興」 第7章 施策3 「健全な財政運営」 ② 判定区分等について協議
第4回 7月11日(月) 18時30分から (会場) 市役所本庁 別棟第3会議室	① 担当課ヒアリング 第5章の施策3 「農業の振興」 第6章の施策1 「自然と共生するまちづくり」 第6章 施策7 「都市基盤の維持管理」 ② 判定区分等について協議

第5回 7月25日(月) 18時30分から (会場) 市役所本庁3階 全員協議会室	① 担当課ヒアリング 第2章の施策5 「子育て支援の充実」 第4章の施策6 「生涯スポーツの振興」 ② 判定区分等について協議
第6回 8月1日(月) 18時30分から (会場) 市役所本庁3階 全員協議会室	① 外部評価(ヒアリング)結果(案)のとりまとめ ② 外部評価委員会の振り返り ③ 市長への答申の取り扱い ④ 会議録(案)の確認

【阪南市外部評価委員 \*五十音順】

氏名(敬称略)	区分	備考
奥野 美代子 (おくの みよこ)	市民	
掛谷 純子 (かけや じゅんこ)	学識経験のある者	副委員長
高橋 謙一 (たかはし けんいち)	市民	
壬生 裕子 (みぶ ひろこ)	学識経験のある者	委員長